

令和5年度第3回大和市社会教育委員会議定例会（第33期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和5年度第3回大和市社会教育委員会議定例会（第33期）		
開催日時	令和5年11月27日（月曜日）午後3時30分～午後4時50分		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター610大会議室		
出席状況	委員	8人：大川委員、小森委員、齋藤委員、中村委員、中山委員、藤倉委員、長谷部委員、丸田委員	
	関係各課	4人：文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども・青少年課長	
	事務局	3人：図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由			
審議又は検討経過及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>1) 令和6年度生涯学習振興補助金選考結果について</p> <p>2) 健康都市やまとMANABI計画（大和市生涯学習推進計画）について</p> <p>3) 令和5年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>(2) その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>1) 令和6年度生涯学習振興補助金選考結果について、資料1の内容を文化振興課長より説明。</p> <p>(議 長) 社会教育委員から出席している委員より報告をお願いしたい。</p> <p>(委 員) どの団体も非常に意欲的なプレゼンで感動した。ユース・ウインド・オーケストラは、2024年1月21日にやまと国際オペラ協会主催のドン・カルロにも出演されるということで、大和市の文化振興に大きく寄与されることと期待している。大和市民オーケストラは、市民に広く開かれることで市民の芸術に触れる機会が広がると思った。特に、入場料が無料ということで公平性が期待できる。また、補助金申請額の上限が25万円のところ、実際の申請額は20万円と控えめなので、その点について質問した委員の方もいたが、とにかく多くの方に見てもらいたいという意欲を強く感じた。ユニバーサル・グループは、音楽をとおして環境問題を考えるきっかけを作りたいというコンセプトに好感を持った。小さな子を持つ保護者が非常に意欲的で目を輝かせながら、創作活動をしたいという思いが伝わり、好感が持てた。</p> <p>(議 長) ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>(委 員) 今回は全て音楽関係の団体で珍しいと思ったが、偶然か。</p> <p>( 市 ) 偶然である。市として意図したものではない。</p>		

- (委員) 大和市民オーケストラは参加費無料だが、メインホールの使用料はかからないのか。
- (市) ホールの使用料も補助金の対象経費となっているため、減免ではなく補助金で対応している。
- (議長) 他にご意見が無いようであれば、報告事項ということでご承知おきいただきたい。
- 2) 健康都市やまとMANABI計画(大和市生涯学習推進計画)について資料2-1~2-4について事務局より説明。
- (市) 令和5年度を以て、健康都市やまとMANABI計画(生涯学習推進計画)の計画年が終了することから、今年度、次期生涯学習推進計画の策定のため準備を進めてきた。しかし、2025年度(令和7年度)を初年度とする新たな総合計画を策定することとなったため、現在の総合計画の前期基本計画を1年延伸することが決定した。健康都市やまとMANABI計画は、総合計画の個別計画として、他の計画と整合しながら策定する必要があるため、現在の総合計画と同様に1年延伸することを決定した。
- 続いて、計画延伸に伴う作業については、現計画では施策の内容に応じた「成果指標」と「活動指標」について、2023年度(令和5年度)の目標値を設定しているが、計画の1年延伸に伴い、新たに2024年度(令和6年度)の目標値を設定する必要がある。現総合計画の延伸と同様の手法で、健康都市やまとMANABI計画の令和6年度目標値の案を作成したので、本日の会議でご意見を頂きたい。それぞれの指標について、令和6年度の最終目標値、目標値変更の有無、計算方法、設定理由等が記載されている。基本的には、当初計画策定時に設定したロジックに基づき、1年後の数値を設定している。
- (議長) まず資料2-3の成果指標についてご意見、ご質問はあるか。
- (委員) 計画期間に関わらず、最終年度までの目標値が決められている指標については令和6年度も変わらないということだが、現時点で既に達成されている指標もそのまま変わらないということか。
- (市) 現状達成している指標は数値を落とさないようにしたいが、年度によって受講者数など、数値が減少することもあるので変わらず同じ数値を用いている。
- (委員) 達成している指標については現状維持ということか。
- (市) そのとおりである。
- (委員) 伸び率などを見て目標値を設定しているのか、考え方を教えていただきたい。また、講座等参加者数について、令和6年度目標値が1,819人に増えている。目標値を変更した項目であるため、変更欄に○が付くのではないか。
- (市) 目標値の根拠において、年度ごとの数値の増加幅を示している指標については、その増加幅で令和6年度の目標値を算出している。講座の参加者数など定数の上限が定まっているものや、アンケート満足度のような目標値については据え置きとしている。ご指摘の、講座等参加者数については、目標値の変更欄に○が付くのが正しいので、○を加えていただきたい。

(委員) おはなし会延べ参加者数は10%伸ばすことと設定されているが、毎年度2パーセントずつ上がっていく他の指標との違いは何か。また、目標値の根拠が総合計画と書かれている指標があるが、総合計画との関連を教えてください。

(市) おはなし会についての延べ参加者数や読み聞かせボランティア養成講座等参加者数などの図書館の活動については、読書の計画である『こども読書よむ読むプラン』(2022年度～2026年度)の実施計画で定めるものだが、初年度はコロナの影響もあり、実施計画の目標値を定めず、令和4年度の実績値を見た上で、令和5年度に残り4年分の目標値を定めることにしていた。読み聞かせボランティア養成講座等参加者数については、元々300人が最終目標値だったが、目標値が高いのではと点検評価でここ数年ご意見を頂いており、実際に令和4年度の実績値は167人であった。それらの理由から、令和6年度の目標値を180人に下げる修正をした。

現在の総合計画は10年計画で、前期基本計画が5年、後期基本計画が5年である。本来であれば、2023年度が前期基本計画の最終年度で、2024年度から後期基本計画であったが、市長が交代し、新たな総合計画を策定することとなった。2025年度から次期計画をスタートするために、2024年度中の議決に向け準備を進めている。法律で決まっているなどの理由で2023年度中に更新しなければならない個別計画については、総合計画と切り離して更新することとなるが、総合計画に紐づく個別計画については、総合計画に合わせて14の個別計画が総合計画同様、1年延伸することとなった。

(議長) 続いて資料2-4の活動指標についてご意見、ご質問はあるか。

(委員) 健康都市大学事業の令和6年度目標値が無いのはなぜか。

(市) 健康都市大学は3学部あるが、市民でつくる健康学部については、シリウス4階の健康テラスでほぼ毎日開催している。4階は健康都市図書館と銘打ち、健康に関する本を健康コーナーに集めている。医療的な健康だけではなく、スポーツや美容など、広く健康として捉えている。専用のレファレンスコーナーを設け、図書館司書が対応しており、健康コーナーに隣接しているのが健康テラスである。ここでは健康や医療に関する講座を毎日行うこととし、市からの要求水準に基づいて、平成28年の開館以来、指定管理者やまとみらいが毎日開催してきた。健康都市大学は、令和元年度から市直営で実施している。開館から7年が経ち、市内はもちろん、市外、県外にも広くシリウスが周知されたので、一定の成果があったと捉えている。指定管理者が行う健康テラスイベントと市が行う健康都市大学をスリム化し、令和5年度末で健康都市大学事業を終了するため、目標値が無い。ただし、令和6年度からは、市民でつくる健康学部の市民講師の方々には、指定管理者が行う健康テラスイベントに組み込んで講座を実施していただくことを考えている。実施方法については図書・学び交流課で検討中である。

(委員) おはなし会の開催回数が変わっているが、理由をお聞きしたい。  
(市) 令和4年度実績に基づき、令和5年度以降のこども読書よむ読むプラン実施計画を策定したため、目標値の修正を行った。コロナ禍の影響もあり、開催回数を減らしている点を反映し、実績に応じた数値とした。

～休憩～ (文化振興課長、スポーツ課長、こども・青少年課長退席)

～再開～

3) 令和5年度社会教育委員に関する研修会等について、事務局より前回会議時からの変更点について説明。

(議長) 各委員より、出席した研修会等のご報告をお願いしたい。

<9/4 県社会教育委員連絡協議会 研修会 (小早川委員、齋藤委員出席)>

(委員) まず、事例発表として愛川町の社会教育委員会議会の事例が発表された。外国籍の方が多い町ということで、人の繋がり、文化の継承というテーマで事業をしたという話であった。続く講演会では、社会教育委員と社会教育主事の連携について、町田市社会教育委員であり、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長でもある吉田和夫氏の講演があった。内容は、社会教育士が制度化され、行政の中で社会教育主事の役割が変わってきているという話であった。教育委員会としての社会教育委員会議から、市長部局への関連が強化されたことによって、今までと違った視点を持たなければならないこと、協働やNPOなど、団体との連携を考えていく必要があることなどを学んだ。社会教育関係の状況が変化し、社会教育主事の減少、講座の減少、市長部局への社会教育の移行、指定管理者の広がりなど、社会教育主事が力を発揮できる場が減ってきているのではないかと思う。社会教育委員の会議は、自治体によっては予算上年3回しか開催できないところもあり、それと比較すると大和市は家庭教育支援事業の実施もあり、活動している方だと思う。社会教育委員は様々な母体から選出されているので、それぞれの母体での協力関係を築いていくことが必要であり、社会教育主事は、行政の専門職なので部署異動すると能力を発揮する機会が限られてしまうが、異動した先で社会教育と結び付けていくことが必要だということを講師が話されていて勉強になった。講演会後に分科会が開かれ、社会教育委員と社会教育主事の連携についてのグループワークを行った。参加したグループでは、社会教育委員の役割を把握していない方もいたようだ。

<10/6 社会教育委員連絡会議 (丸田議長、藤倉委員出席)>

(委員) まず各市町村の活動報告があった。それぞれが資料を持参し、簡単に各市町村の活動について順番に報告した。その後の協議で、社会教育委員会議の活動は、行政からの諮問について検討協議をするということが多いという話になり、それに対し大和市は主体的に活動していると丸田議長が話されていて、他の自治体に比べ

大和市社会教育委員会議は自立していると思った。綾瀬市は子どもの居場所について取り組まれており、そこでは子どもが怪我をしても自己責任という感じで、大胆な取り組みをされていると思った。その分、子どもたちがのびのびと居場所として楽しい場所になっているのだろうと感じた。その後、文教大学の青山鉄兵先生の講演があった。テーマは子どもの体験学習にどう関わるかという話であったが、その中で印象に残った内容は、子どもの体験活動をいろいろと仕組んでいく中で、問題なくその体験活動が終わることをよしとするのかどうかということで、むしろ「参加者同士の喧嘩など、色々なドラマが起こることに意味がある」ということを話されていて、確かにそうだと思った。「子ども達が体験活動に参加してどんな気持ちになったのかとか、どんな苦勞をしたのかということに意味がある」という話をされていた。主催者側は意図をもって体験活動を実施するが、その意図を子どもに押し付けてしまうのはよくないことで、そんなことを子ども達は知らなくていいということと話されていた。これを教育したい、これを見つけさせたいというのを子どもたちに押し付けすぎると却ってつまらなくなってしまう。子どもから「これが終わったら遊んでいい？」と言われたことがあり、何のための体験活動なのかと思ったことがあると言っていた。参加者のスマホで今の感想をリアルタイムに自由に書き込めるアプリケーションがあり、それを使って参加者がどんどん書き込み、それがスクリーンに映し出され、先生が随時それに答えるような形の、手法も面白い講演であった。講演後にグループ協議があり、綾瀬市の子どもの居場所の話で盛り上がった。

(議 長) 綾瀬市の話について、怪我をするのは当たり前というのは青山先生の話とマッチングする部分がある。子どもは与えられた遊びだと、あれはやっちゃ駄目、これもやっちゃ駄目という制限された遊びになり、子どもにとっては本来の遊びではなくなってしまうので、これが終わったら遊んでいいかというようなことが起こる。遊びの中にも知識、スキルを身に着けさせるというものや素質を伸ばすようなものなどいろいろあるので、使い分ける必要があるという話もあった。

<10/16 県社会教育委員連絡協議会 理事会 (丸田議長出席) >

(議 長) 令和7年度に関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が予定されている。私自身、過去3回この大会に参加しているが、神奈川県内の全市町村で盛り上げていかなければならないということで行政のお力添えをいただかなければならない。行政から1名、社会教育委員から1名出て運営に回ることになっている。大和市は広報部会に位置付けられている。

また、来年度の県社会教育委員連絡協議会総会は令和6年6月10日(月)に予定されているので、ご承知おきいただきたい。

(市) 次回(第4回定例会)の日程は、来年2月を予定している。

① 8日(木)午後3時30分から(1名欠席)

② 14日(水)午後3時30分から(1名欠席)

	<p>③ 19日（月）午後3時30分から  ④ 27日（火）午後3時30分から（3名欠席）  ⑤ 28日（水）午後3時30分から（1名欠席）  ⑥ 29日（木）午後3時30分から（1名欠席）</p> <p>（議長）では、本日の出席者全員が出席可能な2月19日（月）を候補日としてよいか。欠席者には後日確認の連絡をする。</p> <p>（委員）異議なし。</p> <p>以上で議事を終わる。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第3回社会教育委員会議定例会（第33期）次第</li> <li>・ 第33期大和市社会教育委員名簿</li> <li>・ 資料1 令和6年度生涯学習振興補助金選考結果について</li> <li>・ 資料2—1 健康都市やまと MANABI 計画(大和市生涯学習推進計画)の延伸について</li> <li>・ 資料2—2 健康都市やまと MANABI 計画(大和市生涯学習推進計画)(2019～2023)体系</li> <li>・ 資料2—3 成果指標の最終目標値（案）</li> <li>・ 資料2—4 活動指標の最終目標値（案）</li> <li>・ 資料3 令和5年度年度社会教育委員に関する研修会等</li> </ul>